

三度の面談の時間を頂いたことに心より感謝いたします。

限られた時間ですので、4点についてのI O Cのご見解を頂きますように、お願い致します。

私たちは、1月29日に組織委員会と東京都に対して、要請書を提出しており、そのことにも触れてお願いをしたいと考えています。

- ① アジェンダ2020では、持続可能なオリンピックを念頭に40の指針が提案されており、提言の1では、既存の施設の最大限の活用と、撤去可能で一時的な会場の活用を積極的に促進するとしています。

私たちは、J S Cが進めているメインスタジアムの新設は、なによりも1964年のレガシーを大切にしていないこと、周辺の歴史的景観を損なう巨大なメインスタジアムを建設しようとしていること、大会後の施設の維持管理経費が膨大になり、国民のスポーツ活動を抑制することなど、大きな問題を含んでいると考えています。できる限りレガシーを大切にすること、あるいは新設する計画であっても、周辺の歴史的景観を損なうことなど、I O Cからも適切な助言をされるように重ねてお願いします。

- ② 競技施設の整備計画の中で、都民が日常的に利用しているこの貴重な公共スポーツ施設を壊して競技会場にする計画があります。東京都の主要な公共スポーツ施設の数は、人口比当たり全国で最低の水準にあります。ところが、ホッケー会場では、野球場6面が壊され、馬術競技場は、陸上競技場と野球場12面が壊されます。選手村は野球場4面が壊されます。テニス会場では、14面のテニスコートが壊されてしまいます。

これは、大会後の都民のスポーツ活動の条件を悪化させるもので、再検討が必要です。I O Cとしても大会組織委員会に改善を求めていただくことをお願いします。

- ③ 仮設の競技場として有明体操競技場があります。ここの建設にかかる経費は組織委員会が負担されることに

なっていますが、地盤による液状化が起きる場所なので、地盤の液状化を防ぐ措置を取らなければなりません。その経費として100億円以上が必要といわれています。大会組織委員会からはいまだにその見込み費用が提示されていませんが、仮に200億円をかけて仮設の施設を建設するのは、大きな損失となります。近隣県の既存施設も視野に入れて再検討するように、I O Cからも助言をお願い致します。

- ④ アジェンダ2020の提言に沿って、2020年の東京オリンピックがどのようにならなければならないのか、I O Cが最も重視している点がどのようなことか聞かせて下さい。今後のオリンピックの準備に私たち市民も声を上げていきたいと考えています。

本日は、大変ありがとうございました。どうぞ気を付けて帰国の途について下さい。